

## 2. 単元評価規準

2. 単元評価規準		観 点 別 学 習 状 況 の 評 価 規 準			
節	節 の 目 標	ア、 数学への 関心・意欲・態度	イ、 数学的な 見方や考え方	ウ、 数学的な 表現・処理	エ、 数量、図形などに ついての知識・理解
1 相似な 多角形	* 多角形の相似の意味を理解し、相似比を用いて辺の長さを求めることができる。	ア - ・相似な図形を意欲的に見つけ、相似な図形に関心を持ち、その性質を調べようとする。	イ - ・相似の概念を明らかにし、合同が相似の特別な場合であることを見いだすことができる。	ウ - ・相似な図形がかけたり、相似比を利用して簡単な場合の辺の長さを求めることができる。	エ - ・相似、比の値、相似比の意味を理解している。
2 三角形の相似条件	* 三角形の相似条件を知り、簡単な場合にそれを用いることができる。	ア - ・三角形の相似条件に関心を持ち、それを使おうとする。	イ - ・3つの三角形の相似条件を導くことができる。	ウ - ・簡単な場合に、三角形の相似条件を使って、相似な三角形を見つけることができる。	エ - ・三角形の相似条件を理解している。
3 相似条件と証明	* 三角形の相似条件を使って、図形の性質を証明することができる。	ア - ・三角形の相似条件を証明の根拠として図形の性質を証明しようとする。	イ - ・相似になる三角形を見つけ出し、相似条件のうちどれが使えるかを指摘できる。	ウ - ・三角形の相似条件を用いて、図形の性質を証明することができる。	エ - ・三角形の相似条件を理解し、それを用いることができる。
4 平行線と線分の比	* 平行線と線分の比に関する性質を導き、それを活用することができる。	ア - ・平行線と線分の比に関する性質に関心を持つ。	イ - ・平行線と線分の比、線分の比と平行線に関する性質を、三角形の相似条件を使って導くことができる。	ウ - ・平行線と線分の比や線分の比と平行線の性質を利用して、辺の長さを求めることができる。	エ - ・平行線と線分の比、線分の比と平行線に関する性質を理解している。
5 中点連結定理	* 中点連結定理を導き、それを用いて図形の性質を証明することができる。	ア - ・中点連結定理の発見や利用に意欲的に取り組もうとする。	イ - ・観察、実験、操作を通して中点連結定理を発見し、証明することができる。	ウ - ・中点連結定理を用いて、図形の性質を証明することができる。	エ - ・中点連結定理を理解している。
6 相似の利用・	* 図形の拡大・縮小と相似の関係を理解し、縮図を用いて距離や高さを求めることができる。	ア - ・図形の拡大・縮小に関心を持ち、縮図をかいて、実際の距離や高さを求めようとする。	イ - ・直接に測ることのできない2地点間の距離や建物の高さを求めるのに、縮図を利用することができる。	ウ - ・ある図形の拡大図・縮図をかくことができ、縮図をかいて、距離や高さを求めることができる。	エ - ・図形の拡大・縮小、拡大図・縮図の意味を理解している。
7 相似の利用・	* 身近な事象について、平行線と線分の比の考え方を利用して課題を解決することができる。	ア - ・課題に対する自らの立場を明確にするとともに、課題解決のための方法を意欲的に考えようとする。	イ - ・空間における三角形や平行線を分析するための適切な図を描くことができる。	ウ - ・街灯の下を歩くときの影の先の動きを定理「平行線と線分の比」と「線分の比と平行線」から説明することができる。	エ - ・街灯の下を歩くときの影の先の動きを理解している。